

Quest®



KACE®システム管理アプリケーション10.0

リリースノート



目次

Quest® KACE®システム管理アプライアンス10.0リリースノート.....	3
KACEシステム管理アプライアンス10.0について.....	3
新機能と拡張機能.....	3
サービスデスク機能.....	3
資産管理機能.....	3
エンドポイント通信機能.....	4
インフラストラクチャ機能.....	5
解決済みの問題.....	6
既知の問題.....	11
システム要件.....	12
製品ライセンス.....	12
インストール手順.....	13
更新の準備.....	13
アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート.....	14
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	14
アップデート後のタスク.....	15
正常に完了していることの確認.....	15
セキュリティ設定の確認.....	15
追加のリソース.....	16
グローバル化.....	16
当社について.....	16
テクニカルサポートのリソース.....	17
法的情報.....	17

Quest® KACE®システム管理アプライアンス10.0リリースノート

このドキュメントは、KACE システム管理アプライアンス (SMA) バージョン 10.0 に関する情報が記載されています。

KACEシステム管理アプライアンス10.0について

KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、デバイスの管理、アプリケーションの展開、パッチ適用、資産管理、サービスデスクチケット管理などを自動化するための、仮想アプライアンスです。KACE SMAシリーズアプライアンスの詳細については、<https://www.quest.com/products/kace-systems-management-appliance/>をご覧ください。このリリースには、多くの新機能が搭載されており、問題が修正され、セキュリティが強化されています。

新機能と拡張機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下の機能と拡張機能を備えています。

サービスデスク機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下のサービスデスク機能と拡張機能を備えています。

- チケットテンプレート：この機能を使用すると、同じキュー内に異なる複数のチケットタイプを作成できます。複数のチケットキューを作成、管理せずに、さまざまなリクエストシナリオに対してエンドユーザーが提供する情報をより適切に制御するために使用します。各キューには、1つ以上のチケットテンプレートを入れられます。キュー内に複数のテンプレートがある場合、デフォルトテンプレートとしてチケットテンプレートを1つ選択する必要があります。
- チケットテンプレートの条件付きフィールド。チケットテンプレートごとに条件付きロジックを設定して、チケットページで以前選択した値に基づいて特定のフィールドを表示 / 非表示にすることができます。例えば、プリンタの問題に関するチケットテンプレートがある場合、さまざまな種類のプリンタの問題に適用されるフィールドをセットとしていくつか表示できます。

資産管理機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下の資産管理機能を備えています。

- スケジュール済みの資産インポート：このリリース以降では、資産のインポート ウィザードを使用して、ネットワーク共有上にある CSV (カンマ区切り値) ファイルから資産のスケジュール済みインポートを設

定できます。このウィザードには、新たに 資産インポートの選択スケジュール ページが含まれています。このページでは、必要に応じて使用可能なスケジュールパターンを選択できます。

- 資産のインポート時に 資産ステータス フィールドをマッピングする機能：資産のインポート ウィザードの マッピング ページを使用して、資産ステータス フィールドを CSV ファイルの列にマッピングできるようになりました。これは、特定のステータス (アクティブ など) の資産ごとに大量の資産をインポートする必要がある場合に便利です。このマッピングを指定しない場合、選択した資産タイプに関連付けられているデフォルトのステータスが、インポートされたそれぞれの資産エントリに割り当てられます。
- 管理者は管理者以外のユーザーがアセットを削除できないようにできる：資産タイプの詳細 ページで、管理者以外に資産の削除を許可する オプションが使用できるようになりました。管理者はこのオプションを使用して、管理者以外のユーザーが資産を削除できるかどうかを指定できます。このオプションはデフォルトでオフになっています。このオプションを設定できるのは管理者のみです。他のタイプのユーザーでは、このフィールドはページに表示されませんが無効になっています。
- アプライアンス管理者は、場所 フィールドや ユーザー フィールドを使用せずに資産タイプを作成できる。特定の資産タイプ (購入 や 契約 など) の場合、この情報は無関係な場合があります。アセットタイプの詳細 ページに 場所の設定を表示 オプションが追加されました。このオプションを使用すると、選択した資産タイプに 場所 フィールドを含めるか除外するかを指定できます。同様に、資産譲受人の値はデバイスタイプの資産にのみ表示されます。

エンドポイント通信機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下のエンドポイント通信機能と拡張機能を備えています。

- Microsoft Hyper-V または System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) デバイスの検出：組織で仮想 Hyper-V ベースの環境を使用している場合、アプライアンスを使用して、検出スケジュールを介して Microsoft Hyper-V または SCVMM デバイスを検出できます。ネットワークで Hyper-V または SCVMM デバイスをスキャンしてこれらのデバイスに関する情報を取得するには、認証済み検出スケジュールを追加します。各 SCVMM / Hyper-V デバイスは、エージェント不要ライセンスを使用します。デバイスに KACE エージェントもプロビジョニングされている場合、エージェントのライセンスも使用されます。
- デバイス詳細 にバッテリー情報が追加：デバイス詳細 ページに、新たに バッテリー フィールドのグループが追加されました。これにより、Windows、Linux、および macOS エージェント管理デバイスとエージェント不要デバイスのバッテリー関連情報が表示されます。このグループには、次のフィールドが含まれます。
 - 充電：現在のバッテリー容量の割合。
 - Chemistry：Windows および Linux デバイスのみ。リチウムイオンなどのバッテリータイプ。
 - 現在の容量 (mWh)：現在のバッテリー容量。
 - 設計容量 (mWh)：設計上のバッテリーの最大容量。
 - フル充電容量 (mWh)：バッテリーの現在の最大容量。この値は時間の経過とともに低下します。
 - 正常性 (%)：最大設計容量に対する現在のバッテリー容量の割合。
 - 製造元：バッテリーの製造元。
 - 名前：バッテリーの名前またはモデル。
 - 電源に接続済み：バッテリーが現在電源に接続されているかどうかを示すインジケータ。
 - 再充電カウント：MacOS デバイスのみ。バッテリーが再充電された回数。
 - シリアルナンバー：バッテリーのシリアルナンバー。
 - 残り時間 (分)：バッテリーが放電するまでの時間 (分)。デバイスが接続されている場合、このフィールドは空白になります。
- cURL 証明書バンドルのアップロードおよび配布機能：一部の環境では、エージェントサーバーとの通信中にカスタム cURL (クライアント URL) CA (証明機関) 証明書を使用します。これは、デフォルトのエージェントバンドルで参照されていない権限によって署名された SSL 証明書を確認するために使用でき

ます。このリリースから、エージェント設定 ページの CA 証明書バンドルファイル 設定を使用して、カスタムの CURL CA バンドルをアップロードしたり、デフォルトのバンドルに戻したりできます。

- リモートコントロール：サードパーティソリューションと統合し、Windows、Mac、Linux の各システム全体でリモート制御管理を行えます。一般設定 ページの デバイスのアクション に SimpleHelp がオプションとして表示されるようになりました。このツールの詳細については、SimpleHelp のマニュアルを参照してください。
- KACE Cloud Mobile Device Manager (MDM) との継続的な統合：
 - KACE Cloud Mobile Device Manager (MDM) に登録されているデバイスに関する情報の表示：このアプライアンスには、統合 KACE Cloud MDM インスタンスに登録されている Mac OS X デバイスに関する情報が表示されます。このようなデバイスで使用できる情報のタイプは、KACE SMA エージェントがインストールされているかどうかによって異なります。
 - デバイス詳細 にデバイス管理方法を表示：デバイス詳細 ページ に新たに追加された デバイスエントリタイプ フィールドに、次の選択したデバイスの管理方法が表示されます。エージェントデバイス、エージェント不要デバイス、手動で入力されたレコード、またはエージェント / エージェント不要 (ハイブリッド KACE Cloud MDM インベントリ)。
 - デバイスと KACE Cloud MDM の関連付けの解除：KACE Cloud MDM に登録されているエージェント不要デバイスの場合、そのデバイスと KACE Cloud MDM の関連付けを解除し、エージェントのみのインベントリレコードに戻すには、デバイス詳細 ページで、エージェント不要統合の削除 をクリックします。
- アプライアンスからの KBRSL の削除：KBRSL はプロビジョニングコードに含まれなくなりました。既存の KBRSL プロビジョニングスケジュールは、WinRM を使用するように変換されています。
- KACE システム展開アプライアンス (SDA) との統合：KACE エージェントにより、KACE SMA のデバイス詳細 インベントリビューに KACE SDA 設定情報が入力されます。
- 緊急警告モード：緊急警告モードの 警告の詳細 ページに新しいオプションが追加されました。選択すると、警告メッセージが画面の中央に表示されます。ユーザーはこのメッセージを移動したり、バックグラウンドで表示したりすることはできません。作業を続行する前に、警告に対処する必要があります。
- ネイティブ Windows レジストリ領域用の OS ネイティブスクリプト変数の追加：このリリースから、NAT を HKLM (HKEY_LOCAL_MACHINE) に追加して、必要に応じてスクリプトタスクの 32 ビットまたは 64 ビットのレジストリ領域にアクセスすることができます。例：HKLM\NAT\Software\ABC。

インフラストラクチャ機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下のインフラストラクチャ機能と拡張機能を備えています。

- KACE SMA パッチソリューション：このリリースでは、MS Windows および Mac OS 用の KACE SMA パッチソリューションが追加されました。パッチパッケージは、選択したサブスクリプションオプションおよびダウンロードオプションに従って Quest からダウンロードされます。また、パッチパッケージは、ベンダーから直接ダウンロードされる場合もあります。Quest では、Windows および Mac オペレーティングシステム、および多くの一般的なアプリケーションに対して、安全でタイムリーかつ高品質なパッチ署名を提供しています。



注: この機能を使用する前に、10.0 にアップグレードしてから、パッチのダウンロードを実行する必要があります。

- バージョン 6.0 より前に作成された Smart Label は、10.0 をウィザードベースのバージョンに適用する前に手動でアップグレードする必要があります。
- 多数の検出または配布パッチ結果を含む 10.0 へのアップグレードでは、通常のアップグレードよりも時間がかかる場合があります。
- このバージョンにアップグレードした後、概要 ページに警告が表示され、非推奨のレポート、チケットルール、またはカスタムフィルタが一覧表示されます。
- 新しい組み込みレポートである「ソフトウェアカタログアプリケーションが検出されたが、アプリケーションパッチでは使用できない」を使用すると、ソフトウェアカタログで検出された KACE パッチでパッチ適用できないソフトウェアを表示できます。これは、サードパーティ製ソフトウェアを監査してセキュリティアップデートを行う際に役立ちます。
- このリリースには、新しいレポート「KACE パッチの不一致」が含まれています。アップグレードプロセス中は、可能な場合、既存のパッチデータが新しい形式に変換されます。このレポートには、変換できないパッチが一覧表示されます。
- シングルサインオンでの Security Assertion Markup Language (SAML) の使用 : サードパーティ製の認証ツールを使用すると、ようこそ ページに資格情報を入力しなくてもユーザーを認証するようにアプライアンスを設定できます。SAML は、ID とサービスプロバイダーの間でセキュリティトークンを使用する XML ベースのプロトコルです。セキュリティトークンには、ユーザーの ID に関する情報を提供するアセッション要素が含まれています。SAML 設定 ページを使用してこの機能を構成します。
- Syslog サーバーにデータを送信する機能 : アプライアンスを設定して、リモートの Syslog サーバーに限定的なサーバーログデータを送信できるようになりました。これを行うには、セキュリティ設定 ページで リモート Syslog を有効にする を選択し、リモート Syslog サーバー フィールドで完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレス、およびリモート Syslog サーバーのポート番号を指定します。
- ソフトウェアインベントリで使用可能な影響を受けるデバイスの数 : ソフトウェア リストページの 高度な検索 に 影響を受けるデバイス フィールドが表示されるようになりました。
- リストページにフォーカスして、バーコードスキャンをサポート。リストページを読み込むと、フォーカスがリストページの検索ボックスに切り替わります。これは、カーソルがテキストボックス内にあることで確認できます。これは、バーコードスキャンのサポートを有効にするために実装されています。

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
9.1.204 Mac OS エージェントインストーラの証明書の有効期限が切れると、KACE Cloud Mobile Device Manage (MDM) プロビジョニングを介したインストールが失敗する可能性があります。	K1-20620
Mac OS プロファイルのアップロードにより、エラーが発生する可能性があります。	K1-20563
Mac OS プロファイルのアップロードで、クラス「NetworkSettingsUtil」が見つかりませんでした。	K1-20561
アーカイブされた親チケットを表示できませんでした。	K1-20557

解決済みの問題	問題 ID
西ヨーロッパ (ISO) でエンコードされた E メールの特文字が正しく表示されませんでした。	K1-20549
一部の Dell Chromebook モデルでは、デルとして一覧表示されている製造元で検出できない場合があります。	K1-20544
バックアップファイルの容量が不必要に大きくなる可能性があります。	K1-20543
ライセンスコンプライアンスデータがバックアップウィンドウと重複している場合、そのデータが更新されないことがあります。	K1-20542
2 時間を超えるパッチスケジュール タイムアウトの検出 および タイムアウトの展開オプションを選択できました (選択できない必要があります)。	K1-20533
プロセスプレートから表示する際、新しいコメント行が同時に実行されました。	K1-20528
チケットの詳細 ページでページを再読み込みした後、作業情報が表示されないことがありました。	K1-20522
チケットルールから送信された場合、受信 E メールトークンが機能しませんでした。	K1-20458
証明書の有効期限が切れたため、エージェントがウイルス対策ソフトウェアとして認識されたことがありました。	K1-20457
コンプライアンスデータの更新に、不必要に時間がかかる場合があります。	K1-20450
OWNER_ID が設定されていないと、ウィザードアセットレポート (カスタムユーザーフィールドを含む) が空白になりました。	K1-20446
資産のインポートで、非デバイスタイプの OWNER_ID が設定されませんでした。	K1-20445
E メールを設定していないユーザーが、チケット リストページで所有していないチケットを表示できました。	K1-20441
未同期 (MIA) : 対応する資産がないデバイスでは、アーカイブが予測どおりに動作しませんでした。	K1-20438
バックアップが進行中の場合、資産のアーカイブはスケジュールに従って実行されない可能性があります。	K1-20431
インストールされているソフトウェアアイテムの数が多い場合、ソフトウェアの資産詳細 ページの読み込みに時間がかかることがあります。	K1-20430
パッチ適用 : すべてのデバイスを選択した場合、保存時に通知が表示されずに OS の選択が削除されます。	K1-20417
デフォルト以外の権限を設定すると、Kace GO モバイルアプリがデバイスを正確にリスト表示できなくなる可能性があります。	K1-20405

解決済みの問題	問題 ID
フランス語のロケールで、場所の変更 ポップアップボックスが表示されませんでした。	K1-20400
新しい資産を作成すると、デフォルトのサブタイプに代わり、デフォルトのサブタイプが なし に設定される場合があります。	K1-20398
完全に複製される前に削除された項目が、ToDo リストに表示される可能性があります。	K1-20396
プロビジョニングスケジュールリストに、実行間隔 または 実行基準 スケジュールの、時間または分が表示されませんでした。	K1-20394
無効になる Dell 製デバイスの保証チェックにより、同じデバイスの今後の保証チェックができなくなる可能性があります。	K1-20385
無効な SQL を含む検出 Smart Label を使用すると、スキャン全体が失敗する可能性があります。	K1-20374
アーカイブされたユーザーを使用して E メールでチケットを送信する際、複数のユーザーを作成できます。	K1-20369
チケット更新の E メール通知を生成できない可能性があります。	K1-20360
E メールからレポートを開いたときに、スケジュールされた HTML ウィザードレポート内のリンクが機能しませんでした。	K1-20351
今すぐ実行 スクリプトページの デバイス ドロップダウンボックスで、デバイスの範囲ラベルを使用する際に時間がかかる場合があります。	K1-20347
大量の資産履歴の削除が失敗する可能性があります	K1-20344
タスクスケジュールは、多くのレプリケータを含むアプライアンスで読み込めない場合があります。	K1-20342
LDAP ブラウザ の ツリーの参照 オプションを実行できませんでした。	K1-20327
エージェントパスが正しくないため、Mac プロファイルを展開できませんでした。	K1-20321
似た E メールを持つユーザーが CC リストに追加されると、すべての自分のチケットビューにチケットが表示されました。	K1-20304
プロセス ウィザードのダークテーマのテキスト / 背景にコントラストがありませんでした。	K1-20290
エージェントインストーラにサブストリング userinit.exe が含まれている場合、誤ってサードパーティの userinit 値を更新する可能性があります。	K1-20286
プロビジョニングされた一部の仮想マシンデバイスは、デバイス詳細 ページで VMware デバイスアクションを表示しませんでした。	K1-20285

解決済みの問題	問題 ID
キャンセル済みレポート：空き容量の範囲でリストされたコンピュータは、不適切にグループ化されます。	K1-20275
チケットをクローズする前に親の承認が必要 メッセージが誤って表示される可能性があります。	K1-20267
ステータス フィールドの 高度な検索 が パッチカタログ ページで機能しませんでした。	K1-20091
メータリングラベルを追加した Windows エージェント不要デバイスで、メータリングアイコンが誤って表示される可能性があります。	K1-20061
検出スケジュールのタイムアウト設定が予測どおりに動作しませんでした。	K1-20012
Raspberry Pi のインベントリのチップ数が間違っている可能性があります。	K1-20007
MAC アドレスが重複している BIOS シリアルナンバーが空白または重複していると、インベントリレコードが誤って上書きされる可能性があります。	K1-19988
プロセスをブラックリスト登録しても、プロセスツリー全体が常に終了するわけではありませんでした。このため、孤立した子プロセスが発生し、極端な場合はエンドポイントのメモリがなくなる可能性があります。	K1-19905
オフラインパッチを使用する場合、オフラインソースとターゲットは、アクティブ、非アクティブ、無効の数が異なる場合があります。	K1-19873
ネットワーク設定で SMTP 設定が順守されていないため、パッチフィード E メールを送信できませんでした。	K1-19816
高度な検索 の 次の値で始まらない はグループ (ラベル名やソフトウェアタイトルなどの) では機能しません。	K1-19814
Dell BIOS アップデートでは、プッシュ時にクライアントが再起動されない場合があります。再起動が終了するまで、クライアントは完全にインストールされません。	K1-19770
キャンセル済みレポート：過去 7 日間に追加または変更されたユーザーが不正確でした。	K1-19703
Dell アップデート再起動メッセージに新しい改行文字が含まれると、再起動が完了する場合があります。	K1-19569
手動で追加したデバイスが、夜間の MIA クリーンアッププロセスによって誤って削除される可能性があります。	K1-19531
MI 展開優先順位が、ソフトウェアとカタログソフトウェアの管理対象インストール (MI) の間で適切に適用されていない可能性があります。	K1-19512
ソフトウェアインベントリ項目に英語以外の文字が含まれている場合、Smart Label が正しく実行されない可能性があります。	K1-19507

解決済みの問題	問題 ID
お客様が定義したパッチの再起動メッセージのフォーマットが反映されませんでした。	K1-19492
LDAP インポートで、すべてのレコードで見つからない属性を除外できました。	K1-19406
Dell XPS モデルが Dell アップデートでサポートされていませんでした。	K1-19282
資産のカスタムユーザーフィールドが、レポートの割り当て済みユーザーに正しくマッピングされませんでした。	K1-19226
ソフトウェア インベントリページの読み込みに時間がかかる場合があります。	K1-18985
パッチダウンロードの失敗が誤って報告される可能性があります。	K1-18930
パッチカタログのエラーリンクをクリックすると、デバイスが見つかりませんというメッセージが表示されることがあります。	K1-18721
ソフトウェアのタイトルとバージョンを対象とする Smart Label では、誤った結果が返される場合があります。	K1-18398
クライアントマシンに表示されるパッチの再起動メッセージは、パッチスケジュールの設定を反映していない可能性があります。	K1-18215
Azure にホストされている KACE SMA コンソールに、誤って疑問符 (?) が表示されました。	ESMP-6820
コメントと添付ファイルを同時に追加する際、チケットのコメント セクションがクリアされませんでした。	ESMP-6672
チケットがクローズ済みチケットにマージされる可能性があります。	ESMP-6671
特定基準で表示 オプションが マイアイテム に設定されている場合、制限されたユーザーに対して検索機能が機能しませんでした。	ESMP-6633
パッチの詳細 ページの 廃止 セクションの下にあるパッチをクリックすると、空白のパッチの詳細 ページが表示されます。	ESMP-6591
ネットワークインターフェイスのリストが欠落しているエージェントインベントリの処理が失敗する可能性があります。	ESMP-6588
SDA 設定 セクションが、システムレポートウィザードの 表示する フィールドページに表示されませんでした。	ESMP-6468
高度な検索 のデバイス リストページで、SDA 導入時間 を使用するデバイスの検索が機能しませんでした。	ESMP-6467
HTML タグが、サービスデスクレポートの コメントと解決 列の下に表示されることがあります。	ESMAS-4552
2 つのチケットを同じ送信者とマージすると、それらのチケットが CC リストに追加されました。	ESMAS-4537

解決済みの問題	問題 ID
送信者に権限がないキューにチケットが移動すると、送信者はチケットを確認できませんでした。	ESMAS-4516
場所の詳細 ページの 割り当てられた資産 セクションにある タイプ 列でソートできませんでした。	ESMAM-1897

既知の問題

このリリースの時点で以下の問題の存在が認識されています。

一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
WinRM : 代替の場所を使用した MS Windows デバイスの新しいバージョンへのプロビジョニングはサポートされていません。	K1-20616
コメント セクションの TICK:XXXX リンクは機能しなくなりました。	K1-20558
アップグレードが完了すると、リダイレクトエラーが表示される場合があります。 回避方法 : キャッシュをクリアし、ブラウザを再起動します。	ESMP-7010
すべてのパッチを検出 を使用すると、タイムアウトエラーが発生する場合があります。	ESMP-7005
現在、SAML 属性マッピングでは大文字と小文字が区別されます。	ESMP-6887
10.0 へのアップグレード後に、手動ラベルの Mac OS パッチは、ラベルから表示されなくなります。	ESMP-6536
Windows Server 2019 でタイムアウトエラーが発生したため、OVAL スキャンが失敗します。	ESMP-6535
パッチ適用 : パッチを参照する古いカスタムチケットルールが機能しなくなります。	ESMP-6176
KUserAlert は、フォントが 125% または 150% に設定されている場合、MS Windows 7 で正しくレンダリングされないことがあります。	ESMEC-3461
一部の Microsoft Windows デバイスで SNMP バージョン「SNMPv2c」を使用する際に、検出結果およびインベントリデータで SNMP ウォークデータを使用できません。影響を受ける Windows デバイスは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Windows 10 (1709 以降) Windows Server 2016 (1709 以降) Windows Server 2019 (全バージョン) 	ESMEC-3263
回避方法 : この問題を回避するには、SNMP バージョン SNMPv1 を選択します。	

既知の問題	問題 ID
SELinux がインストールされて有効になっている場合、KACE エージェントは、SUSE Linux Enterprise Server バージョン 15 および openSUSE Leap バージョン 15 デバイスではサポートされていません。	ESMEC-3100
<p>エージェントが SLES v.15 上でエラーを伴ってインストールできません。</p> <p>回避方法：SLES v.15 にエージェントをインストールする前に、システムに次のパッケージがインストールされていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • cups-client • pciutils • psmisc 	ESMEC-2987
キュー設定 (リソースとして設定) でのチケットテンプレートのインポートおよびエクスポートは、現在サポートされていません。	ESMAS-4631
現在、SAML シングルサインオンは KACE GO ではサポートされていません。	ESMAS-4585

システム要件

KACE SMA 10.0 をインストールするために必要な最小バージョンは 9.1 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 7.1 です。KACE SMA 10.0 で最新のエージェントバージョンを実行することをお勧めします。

アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして、サポートが必要な場合をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。

バージョン 10.0 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、KACE SMA の技術仕様で確認できます。

- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.0-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
- サービスとしての K1000 の場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.0-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

製品ライセンス

現在 KACE SMA の製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めて KACE SMA を使用している場合は、アプライアンスセットアップガイドで製品ライセンスの詳細を確認してください。に移動して、適切なガイドを確認します。



注: バージョン 10.0 の製品ライセンスは、バージョン 6.3 以降を実行する KACE SMA アプライアンスでのみ使用できます。バージョン 10.0 のライセンスは、KACE SMA の旧バージョン (6.0 など) を実行するアプライアンスでは使用できません。

インストール手順

このバージョンを適用するには、アドバタイズされたアップデートを使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードして適用します。手順については、以下のトピックを参照してください。

- [更新の準備](#)
- [アップデートの手動によるアップロードと適用](#)
- [アップデート後のタスク](#)



注: 特定のソフトウェアを実行しているデバイスのソフトウェア検出とインストール数の正確性を確保するため、KACE SMA 7.0リリースから、ソフトウェアカタログがアップグレードごとに再インストールされます。

更新の準備

KACE SMAサーバをアップデートする前に、次の推奨事項に従ってください。

- KACE SMAサーバのバージョンの確認 :

KACE SMA 10.0 をインストールするために必要な最小バージョンは 9.1 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして、サポートが必要な場合をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。

- KACE SMA エージェントのバージョンの確認

KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 7.1 です。KACE SMA 10.0 で最新のエージェントバージョンを実行することをお勧めします。

- 開始前のバックアップ :

データベースとファイルをバックアップして、将来参照できるようにバックアップをKACE SMAサーバ以外の場所に保存します。データベースとファイルのバックアップの詳細については、『管理者ガイド』(<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.0-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。

- ポート 52231 が使用可能であることの確認。

.kbin をアップグレードする前に、ポート 52231 を使用して、KACE アップグレードコンソール ページにアクセスできるようにする必要があります。このポートを使用可能にせずにアップグレードが開始された場合、アップグレードの進行状況を監視することはできません。Quest KACE では、信頼できるシステムからポート 52231 を介した SMA へのトラフィックを許可し、アップグレードコンソールからアップグレードを監視することを強く推奨します。アップグレードコンソールにアクセスしない場合、アップグレードはタイムアウトしたとして、ブラウザに表示されるアクセスできないページにリダイレクトされます。これにより、ユーザーはアップグレードによりシステムがクラッシュしたと判断して、ボックスを再起動することになりますが、実際にはアップグレードはまだ進行中です。アップグレードの進行状況が不明な場合、KACE サポートに連絡してください。また、アプライアンスを再起動しないでください。

アドバタイズされたアップデートを使用した KACE SMAサーバのアップデート

管理者コンソールの ダッシュボード ページまたは アプライアンスの更新 ページで、アドバタイズされたアップデートを使用してKACE SMAサーバをアップデートできます。

注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.0-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. アプライアンスの コントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスの システム管理コンソール にログインします。 (http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 更新の確認 をクリックします。

確認の結果がログに表示されます。
5. 更新プログラムが使用可能な場合は、更新 をクリックします。

重要: 最初の 10 分間、アップデートが解凍および検証されている間、一部のブラウザはフリーズしたように見える場合があります。この間に、ページからの移動やページのリフレッシュ、またはページでブラウザのボタンをクリックすると、これらのアクションによって処理が中断されるため、この間はこれらの操作を実行しないようにしてください。アップデートの解凍と検証の後、ログ ページが表示されます。アップデートプロセス中のいずれの時点でも、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

バージョン 10.0 が適用され、KACE SMA サーバーが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

6. サーバのアップグレードが完了したら、すべてのエージェントをバージョン 10.0 にアップグレードします。

アップデートの手動によるアップロードと適用

Questでアップデートファイルが公開されている場合は、そのファイルを手動でアップロードして、KACE SMAサーバを更新できます。

注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.0-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. ログイン資格情報を使用して、Questウェブサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/download-new-releases>) にログインし、KACE SMAサーバの.kbinファイル (10.0 GA (一般向け) リリース用) をダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 手動によるアップデート セクションで次の操作を実行します。

- a. 参照 または ファイルを選択 をクリックして、アップデートファイルを見つけます。
- b. アップデート をクリックし、はい をクリックして確認します。

バージョン 10.0 が適用され、KACE SMA サーバーが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

5. サーバのアップグレードが完了したら、すべてのエージェントをバージョン 10.0 にアップグレードします。

アップデート後のタスク

アップデートが終わったら、アップデートが成功していることを確認し、必要に応じて設定を確認します。

正常に完了していることの確認

KACE SMAのバージョン番号を表示して、正常に完了していることを確認します。

1. アプライアンスのコントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスのシステム管理コンソール にログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 現在のバージョンを検証するには、ページの右上隅にある サポートが必要な場合 をクリックし、表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。

セキュリティ設定の確認

セキュリティを強化するため、アップデート中は HTTP および FTP 経由のデータベースアクセスが無効になります。データベースファイルへのアクセスにこれらの方法を使用している場合は、アップデートの後、必要に応じてセキュリティ設定を変更します。

1. アプライアンスのコントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスのシステム管理コンソール にログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 左のナビゲーションバーで セキュリティ設定 をクリックして、セキュリティ設定 ページを表示します。
3. ページの上部で、次の設定を変更します。
 - セキュアバックアップファイルの有効化：このチェックボックスをオフにすると、ユーザーは、HTTP を使用して認証なしにデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。
 - データベースアクセスの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、ポート 3306 経由でデータベースにアクセスできるようになります。
 - FTP 経由のバックアップの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、FTP を使用してデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。

! **注意:** これらの設定を変更するとデータベースのセキュリティが低下するため、推奨されません。

4. 保存 をクリックします。
5. KBINアップグレードの場合のみ。アプライアンスへのルートパスワード (2FA) アクセスの難度を上げます。
 - a. システム管理コンソールで、設定 > サポート の順にクリックします。

- b. サポート ページのトラブルシューティングツール で、2要素認証 をクリックします。
- c. 2要素認証をサポート ページで、シークレットキーの置き換え をクリックします。
- d. トークンに関する記録を作成し、この情報を安全な場所に保管します。

追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/10.0/technical-documents>)
 - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。
仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.0-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
サービスとしてのKACEの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.0-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。
 - セットアップガイド：仮想アプライアンスのセットアップに関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/10.0/technical-documents> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。
 - 管理者ガイド：アプライアンスの使い方に関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.0-common-documents/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースはユニコード対応であり、すべての文字コードをサポートしています。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があり、また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、次の言語のローカライズ版が用意されています。フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

当社について

Quest は、急速に変化するエンタープライズ IT の世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの急増、クラウドの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティの脅威、規制要件によって生じる課題を簡素化することができます。当社は、Fortune 500 企業の 95 % や Global 1000 企業の 90 % など、100 か国 130,000 社にサービスを提供するグローバルプロバイダです。1987 年以来、データベース管理、データ保護、ID およびアクセス管理、Microsoft プラットフォーム管理、統合エンドポイント管理などのソリューションのポートフォリオを構築してきました。Quest を使用することで、組織は IT 管理に費やす時間を短縮し、ビジネスの革新により多くの時間を費やすことができます。詳細に関しては、「www.quest.com」を参照してください。

テクニカルサポートのリソース

Quest の有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様、および試用版をお持ちのお客様は、テクニカルサポートをご利用いただけます。Quest サポート ポータルは、<https://support.quest.com> からアクセスできます。

サポートポータルは、問題を迅速に自身で解決するのに使用できるセルフヘルプツールを提供しており、毎日24時間アクセスできます。このサイトでは、以下の操作を実行できます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法的情報

© 2019 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept

4 Polaris Way


Aliso Viejo, CA 92656

Refer to our Web site (<https://www.quest.com>) for regional and international office information.

Trademarks

Quest, the Quest logo, Join the Innovation, and KACE are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. For a complete list of Quest marks, visit <https://www.quest.com/legal/trademark-information.aspx>. All other trademarks and registered trademarks are property of their respective owners.

凡例

 **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータ損失につながる可能性があることを示します。

 **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、補足情報を表しています。

KACEシステム管理アプライアンスリリースノート

更新日 - 2019 年 8 月

ソフトウェアバージョン - 10.0